第1号様式（第5条関係）

平成30年度　指定管理者年度総合評価表

作成年月日	令和元年7月30日

1　指定管理者概要

施設名	別海町営畜牛育成牧場	
所在地	別海町中西別108番地の2	
施設概要	（1）敷地面積　1,080ha （2）放牧地面積　887.5ha （3）施設 牛舎1棟、D型牛舎1棟、DH型牛舎2棟、堆肥舎1棟、堆肥場1ヶ所、作業場1棟、車庫1棟、管理棟兼住宅1棟、職員住宅2棟	
指定管理者	名称	有限会社別海町酪農研修牧場
	代表者	代表取締役社長　佐藤　次春
	所在地	別海町西春別347番地の63
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日	
指定管理者の業務	（1）家畜の飼養管理、授精等に関する業務 （2）草地の維持管理及び飼料収穫調整に関する業務 （3）施設及び設備の維持管理に関する業務 （4）施設等の利用承認に関する業務 （5）利用料金の徴収に関する業務 （6）前各号に掲げるほか施設の管理のため必要な業務	
町の所管課	産業振興部農政課	
	電話	0153-75-2111（内線　1414）
	E-mail	nousei@betsukai.jp

2　指定管理者による自己評価

評価	・夏期預託頭数及び冬期預託頭数ともに計画を上回った。増体面については、育成授精対象牛は前年比で若干落ちたが、一般妊娠牛は前年比を上回った。受胎率は、前年から大きく向上した。 ・草地やパドック等の整備を計画的に行い、預託牛の受入環境の向上に努めた。 ・入牧会議や下牧会議等において、関係機関と情報共有や連携を図りながら、預託牛の適切な管理に努めた。
今後について	今後も、施設や設備の維持管理を適切に行い、預託牛の良好な受入環境の維持、向上に努める。 課題として、作業員の高齢化が進んでおり、人材の確保・育成に努める必要がある。

3　町（所管課）の総合評価

評価	・施設や設備の維持管理に努め、草地更新やパドック整備を計画的に行うなど預託牛の良好な受入環境の向上に努めている。 ・家畜保健衛生所や農業共済組合等の関係機関と連携を図りながら、防疫管理に努めている。今後も利用者が安心して預託できる牧場管理を継続するよう期待する。
指摘事項	特になし

4　管理運営状況に係る個別評価

評価欄への記入内容
◎:　町が示した条件や内容を上回る水準で管理運営されていた
〇:　町が示した条件や内容が概ね達成されていた
×:　町が示した条件や内容が達成されていなかった
特記事項への記入内容
特記事項への記入内容は、評価が◎又は×となった項目についてのみ記載

（1）管理・運営状況

指標	評価	特記事項
開館日、開館時間の状況	〇	
法令の遵守の状況	〇	
適正な人員配置状況	〇	
従業員の労務環境確保の状況	〇	
障がい者の雇用状況（該当がある場合）	―	障害者の雇用条件なしのため対象外
従業員への教育・研修状況	〇	
緊急事態への対応状況	〇	
書類等の管理保存状況	〇	
報告書の提出状況	〇	
利用料金の取扱状況（該当ある場合）	〇	
利用料金の減免状況（該当ある場合）	－	該当なし
口座管理、経理の区分状況	〇	
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償状況	―	事例なし
付保する保険（保険加入を指定している場合）の状況	―	保険加入指定なしのため対象外
重要事項の変更の届出状況	〇	
施設の使用許可及び使用条件等の状況	〇	
施設、設備の保守管理状況	〇	
備品の管理状況	〇	
清掃業務、保安業務、その他必要な衛生管理業務等の状況	〇	
自主事業の状況（選定時に提案があった場合のみ必須）	―	自主事業なしのため対象外

環境への配慮（町から事前に条件を示している場合のみ必須）	○	
苦情・要望等の受入体制確保の状況	○	
苦情・要望等への対応状況	○	

５　他の事業評価実施状況

（1）セルフモニタリング

自主点検状況	入牧会議や下牧会議において、利用者からの意見等について議論した。 台風などの自然災害の後には、施設確認を行った。

（2）定期モニタリング

定期報告状況	収支状況及び預託牛管理状況が毎月、報告書により適切に報告されている。

（3）随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	5回	4月26日	農政課	入牧会議
		6月19日	農政課	パドック整備協議
		8月6日	農政課	施設現況調査
		11月6日	農政課	草地更新協議
		12月21日	農政課	下牧会議
	実施結果			
	入牧会議や下牧会議において、預託計画等の情報共有が図られた。			

（4）その他の状況

指定管理業務に関する財務状況 （計画と実績の状況）	預託料収入が計画を上回るなど、畜牛育成牧場の収支状況は良好である。
その他の取組状況 （運営に関する工夫）	特になし